

～認知症医療への国家的取り組みに学ぶ～

認知症シンポジウム 2013

認知症の諸問題に取り組まれる皆様に、次の企画をご案内いたします。本会では認知症医療の国家的取り組みの実例に学び、医療者の社会的責務を合わせて考える、行政から現場医療・ケアに至る課題をテーマとします。このたび機会を得て、このテーマにふさわしい演者と討論者をお迎えし、最先端の認知症医療に取り組む講演会として開催を準備いたしました。

参加資格は自由です。各方面からのご参加と建設的なディスカッションを歓迎します。

日 時 2013年4月18日(木) 18時30分～20時40分(開場 17:30)

場 所 砂防会館 別館シェーンバッハ・サボー 1階「大会議場」

東京都千代田区平河町 2-7-5 tel.03-3261-8386

プログラム

開会挨拶 明日の医療プロジェクト研究会代表、(医)明医研理事長 中根晴幸先生

情報提供 「日本の認知症薬物療法の現状」 第一三共株式会社学術推進課 庄司清裕課員

第1部 基調講演

座長 上智大学生命倫理研究所教授 町野 朔先生

「急速に拡大する医療者の社会的責務」

信州大学特任教授、米国 Vanderbilt 大学教授、医療倫理学 市川家國先生

第2部 特別講演

座長 東京健康長寿医療センター理事長 松下正明先生

「アルツハイマー病の国家的取り組み

ーフランスの経験 2008-2012 より得た成果と残された課題ー」

フランスアルツハイマー対策財団科学研究統括者

パリ大学名誉教授 ジョエル・メナール先生

追加コメント「日本における取組みの現状」

東京大学医学部精神神経科助教 近藤伸介先生

第3部 パネルディスカッション

座長 東京健康長寿医療センター理事長 松下正明先生

閉会挨拶 医療研修推進財団理事長、慶應義塾大学名誉教授 猿田享男先生

※ 明日の医療プロジェクト研究会は、ジョエル・メナール先生と多年にわたる学術交流を保っている医療者を中心に結成され、「我が国の医療者として公正、人道的な医療・医学を尊重し実践する立場から、適時的に問題提起し、医療者の社会的責務を考え、問題解決への議論を深め、来る社会に貢献する」を目的とします。

共 催 明日の医療プロジェクト研究会 第一三共株式会社

後 援 日本老年精神医学会

演者： フランス アルツハイマー対策財団科学研究統括者
パリ大学名誉教授、ジョエル・メナール先生



略歴：1970年代より高血圧治療の国際的医学者でパリの国立研究所で日本人留学研究者を数多く指導し、日仏医学協力に多大な寄与をされた。国内外の医学研究に関わる一方、フランス厚生省の顧問として医療行政に貢献。2008年以降は政府直接の求めに応じてアルツハイマー病の国家的取組み「Alzheimer-Plan」の取り纏め役 (President of the Scientific Council of the Plan-Alzheimer Foundation) として2012年の政権交代後にも継続してプロジェクト統括にあたっている。

～認知症医療への国家的取組みに学ぶ～

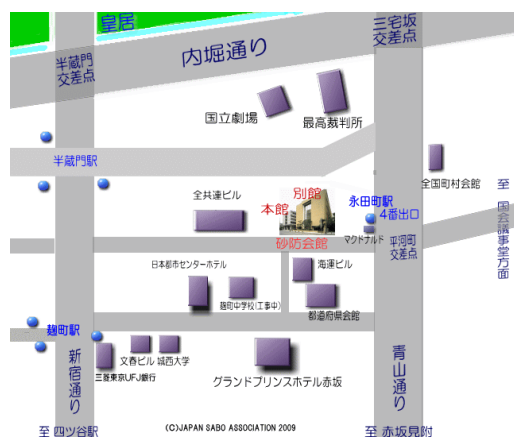
認知症シンポジウム 2013

2013年4月18日 (木)

18時30分～20時40分 (開場 17:30)

会場：砂防会館 別館 1階大会議場
東京都千代田区平河町 2-7-5

TEL.03-3261-8386



※ 同時通訳、軽食をご用意しています。当日は会費 500 円を徴収させていただきます。定員超過の場合施設ごとの参加を制限させていただくことも考えられ、早めの参加希望をお勧めします。参加をご希望される方、会の内容につきご質問などある方は下記にメールまたは Fax でご連絡ください

mayken-project@nifty.jp 研究会事務局 中根晴幸 Fax 048-875-7885

または 慶應義塾大学医学部老年内科 広瀬信義 Fax 03-5269-2468

※当日はご参加を得た確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。

なお、ご記帳頂いた内容は後日、「明日の医療プロジェクト研究会」からの情報提供に利用させて頂くことがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎ファックス申込み： 4月18日の認知症シンポジウム 2013 に参加を希望する

施設名： []

代表者名： [] 参加希望人数： 名

連絡先： 電話、メール、またはファックス []